

# 和文表題講演論文の書き方 第2報：必要に応じて副題

## Instructions for Manuscript Preparation 2nd Report: Subtitle as Necessary

○冷凍 太郎\* (日本橋大工), 空調 花子\*\* (中央工大理), 食品 二郎\*\*\* (大富大工)

○ Taro REITO\*, Hanako KUCHO\*\* and Jiro SHOKUHIN\*\*\*

\*Department of Mechanical Engineering, Nihonbashi University, Chuo-ku, Tokyo, 103-0011, Japan

\*\*Department of Physics, Chuo Institute of Technology, Meguro-ku, Tokyo, 152-0033, Japan

\*\*\*Department of Chemical Engineering, Otomi University, Shibuya-ku, Tokyo, 151-0053, Japan

Abstract should be written with 10pt Times New Roman and single-space from here. The length of the abstract is limited within 150 words.

PDF(.pdf) ファイルに変換してから提出する。PDF 変換の設定は高解像度 High quality を推奨するが、ファイルサイズは 5 MB 以下とする。原稿内の和文フォントは明朝体を、英数字は半角文字とし Times New Roman を推奨する。提出期限：2025 年 7 月 4 日 (金)

Keywords: Keyword1, Keyword2, Keyword3, Keyword4, Keyword5

### 1. 原稿作成要領

原稿は A4 用紙 2 ページ～6 ページとし、本文は 10pt 明朝体を用いて 1 段組みで作成する。1 ページあたり 全角 48 文字×51 行とする。

#### 1.1. 原稿用紙

##### (1) 用紙サイズ

A4 用紙とする。

##### (2) 余白

上下左右に以下の寸法で余白を設定する。上部余白にはヘッダーを設け、「ページ番号/全ページ数」を記入する。1 ページ目の下部余白にはフッターを設け、「2024 年度日本冷凍空調学会年次大会講演論文集 (2024.9.4-6, 福岡)」の文字を 8pt 明朝体で記入する。

上余白：25 mm 下余白：25 mm

左余白：20 mm 右余白：20 mm

上部ヘッダー：用紙端から 15 mm

下部フッター：用紙端から 9 mm

### 2. 原稿書式

Word のスタイル機能を使用すると容易に書式を設定できる。

#### 2.1. 表題

和文表題は 12pt 明朝体強調文字、中央揃えとする。必要に応じて、副題を同じ書体で改行して記す。

英文表題は、書体 10pt Bold Times New Roman とし、前置詞、冠詞を除く単語の先頭文字のみを大文字とする。副題は同じフォントを使用し、副題の先頭文字のみを大文字にして記す。

#### 2.2. 著者

副題から 1 行あけて、著者を記入する。書体は、和文では 10pt 明朝体、英文では 10pt Times New Roman とする。和文、英文ともに、講演者が 35 歳以上の場合は○を、35 歳未満の場合は◎を講演者名の前に記入す

る。(35歳未満の場合、優秀講演賞選考対象者となる。) 英文による著者名は First name FAMILY NAME の順に記し、姓 (FAMILY NAME) は大文字のみを用いる。その下に英文による所属を加える。全ての著者の所属、住所を例にならぬ記入する。

### 2.3. Abstract 講演概要

著者所属から2行あけて、Abstractを150語以内で記入する。書体は10pt Times New Roman、両端揃えとする。

### 2.4. Keywords キーワード

Abstractから1行あけて、英文 keyword を3から5つ、中央揃えで記入する。Keywordの先頭文字のみを大文字とする。

### 2.5. 本文

Keywordsから2行あける。本文は1段組とする。設定の詳細は「1. 原稿作成要領」に後述する。

### 2.6. 見出し

章、項、節の見出しは以下の通りとする。見出しの前は1行あける。見出しが続く場合はその限りでない。書体は本文と同じ10pt明朝体であるが、章題のみ強調文字とする。

### 2.7. 式

式と記号は、10pt 英文フォント斜体字で記述する。ただし、添字は標準体とする。式の前には1行あけ、左側2文字の字下げとする。式番号を右端に記す。本文中では、Eq. (1)とする。

$$G_{in} - F_{in} = p_{in} V_{in} \quad (1)$$

### 2.8. 図、表、写真など

図などを配置する場合、上下左右の余白にはみ出さないようにする。図などの説明は英文とし、本文中では、Fig.1, Table 1などと記す。図、表の題目の上下を1行あける。Fig. 1, Table 1は図、表の例である。

図のみカラーの使用を認めるが、白黒印刷でも内容の把握が可能であるよう配慮する。

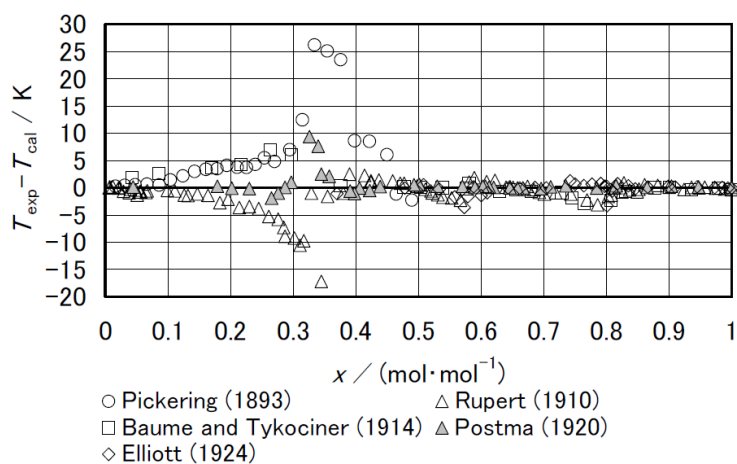


Fig. 1. Deviation of measured freezing point temperatures from correlations by Tillner-Roth[1].

Table 1. Historical data of vapor pressure of ammonia.

Author	Year	$T/K$	$p/MPa$	Ref.
Keyes	1918	240-398	0.103-9.96	1
Cragoe	1920	195-343	0.00563-3.31	25
McKelvey	1923	195-195	0.1	26
Beattie	1930	303-405	1.17-11.3	8
Overstreet	1937	176-242	0.0008-0.1114	27

## 2.9. 参考文献

文献は、本文中で [1], [2,3], [4-7] のように番号で示す。

[例] Keyes ら [1] はアンモニア (NH<sub>3</sub>) の飽和蒸気圧…

参考文献の一覧は英文表記にて文末に記載する。記載項目は、本文文末の例を参照のこと。

## 3. 提出方法

PDF ファイルに変換し、年次大会ホームページ (<https://www.jsrae-nenji.org/nenji2024/>) を通じて提出する。PDF 変換の設定は高解像度 High quality を推奨するが、ファイルサイズは 5MB 以下とする。ファイル容量が上限を超えた場合は、実行委員会でファイル容量を圧縮する必要があることに留意する。なお、ファイル名は、自動的に [講演申込番号].pdf となります。

## 4. 原稿提出期限

2025 年 7 月 4 日 (金) 必着 (締切厳守)

## 5. 問合せ先

### 5.1. 日本冷凍空調学会 2025 年度年次大会実行委員会

E-mail : jsrae25@jsrae.or.jp

### 5.2. 日本冷凍空調学会事務局

〒 103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町 13-7 日本橋大富ビル 5 階

TEL/FAX : 03-5623-3223/3229

## 謝辞

(科研費番号など) …

(本文終了)

## NOMENCLATURE

$c_p$  : specific heat at constant pressure,  $\text{kJ}\cdot\text{kg}^{-1}\cdot\text{K}^{-1}$

$h$  : specific enthalpy,  $\text{kJ}\cdot\text{kg}^{-1}$

$p$  : pressure, kPa

$T$  : temperature, K

$t$  : Celsius temperature, °C

## REFERENCES

- [1] R. Tillner-Roth, J. Li, A. Yokozeki, H. Sato, and K. Watanabe, "Thermodynamic Properties of Pure and Blended Hydrofluorocarbon (HFC) Refrigerants", JSRAE, (1997).
- [2] F. G. Keyes and R. B. Brownlee, The Vapor Pressure of Liquid Ammonia up to the Critical Temperature.[Part II.], Journal of the American Chemical Society, 40(1), (1918), pp. 25–45.
- [3] T. Miyazaki and K. Oguchi, Proc. 2001 JSRAE Annual Conference, Tokyo, (2001), pp. 181–184. (in Japanese)
- [4] J. Shokuhin, Technical report of JSRAE, JSRAE Corp., (2010).
- [5] Wind in power: 2015 European statistics, available from <<http://www.ewea.org/statistics/>>, (accessed on Apr. 14, 2016).

- [6] Y. Higashi and R. Akasaka, Measurements of Thermodynamic Properties for R1123 and R1123 + R32 Mixture, Proceedings of the Sixteenth International Refrigeration and Air Conditioning Conference at Purdue, West Lafayette, Indiana, (2016), Paper ID: 1688.
- [7] G. Myhre, D. Shindell, F. Bréon, W. Collins, J. Fuglestedt, J. Huang, D. Koch, J. Lamarque, D. Lee, B. Mendoza, T. Nakajima, A. Robock, G. Stephens, T. Takemura, and H. Zhang, Anthropogenic and Natural Radiative Forcing. In: Climate Change 2013: The Physical Science Basis. Contribution of Working Group I to the Fifth Assessment Report of the Intergovernmental Panel on Climate Change, Intergovernmental Panel on Climate Change, Cambridge, (2013).
- [8] ASHRAE, Update on New Refrigerants Designations and Safety Classifications, available from <<http://hdl.handle.net/20.500.11822/29025>>, (accessed on Apr. 14, 2016).
- [9] T. Reito, "A Study of Novel Heat Exchanger Designs for High-Efficiency Air-Conditioning Systems", Ph. D. thesis, Nihonbashi University, (2017). (in Japanese)
- [10] H. Kucho, Optimization of Cold Storage Design for Improved Thermal Performance in Supermarket Refrigeration Systems, Master's thesis, Chuo Institute of Technology, (2008). (in Japanese)

### LaTeX テンプレート利用者に向けた注釈

**概要** 本テンプレートは 2025 年度日本冷凍空調学会年次大会講演論文集に対応した LaTeX テンプレートです。MS Word 版テンプレートと可能な限り同じ体裁となるよう調整されています。プリアンブル中の書式設定および本文中の余白の設定 (`\vspace{.}`) は変更しないでください。

**参考文献リスト** [6] 以降の例を新たに追加しています。具体的には、MS Word 版では例示されていない、ページ番号がなく論文番号 (Paper ID) が付されたプロシーディングス [6], 著者数が非常に多い場合 [7], web サイト引用で著者名がある場合 [8], 博士論文 [9] および修士論文 [10] の例を参考までに追加しています。